

# 令和3年度 釧路市いじめ防止対策委員会

日 時：令和3年11月8日（月）13：00～14：00

場 所：釧路市教育委員会 教育委員会室

出席者：別添座席表のとおり

関係資料：・資料1 令和3年度いじめの問題への対応状況

・資料2 いじめの問題に係る各学校の状況及び事案対応

・参考資料 Q-U・アセスの傾向

※資料2及び参考資料については、「釧路市いじめ防止対策委員会の公開について」に基づき非公開

## 1 開 会

## 2 教育長挨拶

## 3 議 事

今回の会議については、本委員会の「会議の公開の取扱い」に基づき、公開で行うこととするが、議事（2）に関しては、学校個々の事案の状況など、「内容を公開することが適当でないと認められる」と考えられることから、非公開とすることについて、本委員会において了承された。

### （1）釧路市のいじめの問題に係る現状について

○事務局より、資料1を使用し説明。

⇒⇒ 以下、各委員からの意見・質問等。

◇委員

9ページの「Q4. いじめの発生状況等についての家庭や地域への情報提供の内容」について、事案の特定等の懸念もあると思うが、具体的にはどのような形で情報提供をしているのか。

◆事務局

一例であるが、その学校で多い“いじめの態様”など、抽象的な形で情報を提供している。また、いじめ認知についても、件数を出している学校が多いと捉えている。

◇委員

5ページの「いじめ発見のきっかけ」について、身近な学級担任が発見しづらい状況について、学校はどう捉えており、先生方はどう認識しているのか。

◆事務局

いじめ調査のうち年3回実施する調査に関して、1回目と3回目はアンケート後に行うことが多いが、9月はアンケートの時期とずれており、先生方が認知して挙げた件数が増えている感じはする。学校についても、研修講座等を通し、積極的にしっかりアンケート以外でも見取って、違和感がある際にはしっかり対応をして積極的に認知をしていただきたいたいとお伝えしており、学校の意識は高まっているのではないかと捉えている

◇委員

同項目について、担任以外の教職員や養護教諭が発見する割合が少なく、アンケートでしか言えないという状況に子どもたちのもどかしさを感じる。同時に、教員間の人間関係の影響もあり、担任以外の先生が発見すると、担任が自らの指導力不足を感じてしまう部分もあるのかも感じた。

◆事務局

学校全体で、先生方が協働してというのが1番大事であり、担任だけではなく複数の目でというのが基本線であるため、今後も引き続き学校に対し指導していく必要性を改めて感じた。

◇委員

いじめの手前の、人間関係の不安等で不登校になる子どもは、現在どのような状況にあるのか。

◆事務局

昨年度の「問題行動等調査」の調査結果から、釧路市では、友人関係を巡る問題など不登校の要因は様々あるが、いじめが関連する不登校はない。

◇委員

前の話に関連して、いじめの手前での、友達同士における対人関係での悩み等に対する調査は行っているのか。

◆事務局

釧路市では、小学校1~4年生はQ-Uテスト（学級の中での満足度を図る調査）を年2回、小学校5~6年生及び中学生はいじめアンケートとほぼ同時期にアセスを使用し調査をしており、学校としては、Q-U・アセス後に必ず全員と面談して話を吸い上げている。このため、他の調査・アンケートを使用したり、学級で先生が日常的に行うなど、色々なものを通し見取るように意識して頂いている。

◇委員

そうした調査について、年度単位のみではなく、経年変化を追跡できるデータはあるのか？

◆事務局

釧路市としてはそこまでは学校に求めてないが、学校としてはQ-Uテストの1・2回目で当該年度の傾向を比較し、その後、クラスが持ち上がりになった場合などは昨年度と比較するなど、データ比較等は必要に応じて行っていると捉えている。

◇委員

1ページの、「令和3年度のいじめの認知件数」の小学校の部分について、その他の1件とは何か。

◆事務局

中身を聞き取っていただき、その時に解消済だが、期間継続中に保護者の転居に伴い他市に転出しているため、期間が過ぎておらず計上できなかったもの。いじめによるものではない。

(2) 釧路市のいじめの問題に係る各学校の状況及び事案対応について ※「非公開」

(3) その他 ※「非公開」

## 4. 閉 会